特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

この目解謝け次の内容を今ね

REC'D	17 MAR 2005
WIPO	PCT

出願人代理人 朝日奈 宗太 様 あて名 〒 540-0012

PCT 国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

大阪府大阪市中央区谷町二丁目2番22号 NSビル

> 発送日 (日.月.年)

15. 3. 2005

田願人又は代理人
の告額記号 FP-8850PCT 今後の手続きについては、下記2を参照すること。
国際出願番号
PCT/JP2005/001342 国際出願日 (日.月.年) 31.01.2005 (日.月.年) 26.02.2004 国際特許分類 (IPC) Int.Cl. 7 C08L27/12, C08K3/04 出願人 (氏名又は名称) ダイキン工業株式会社

~ .	ニャンノロバテ国	IODION I	4.5 U.O.
	×	第I欄	見解の基礎
		第Ⅱ棡	優先権
		第Ⅲ欄	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
		第IV棡	発明の単一性の欠如
	X	第V棡	PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明
	X	第VI椒	ある種の引用文献
		第VI欄	国際出願の不備
•		第四概	国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.102(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解客を国際予備審査機関の見解客とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解客は国際予備審査機関の最初の見解客とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解音とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁審を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解告を作成した日 25.02.200	5	
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 松浦 新司	4 J 3 5 5 5
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3455

第1 棚 見解の基礎	
1. この見解告は、「	記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
□ この見解書は それは国際調	・ 語による翻訳文を基礎として作成した。 をのために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されかつ簡求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 掛を作成した。
a. タイプ	配列表
	配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	□ 各面
	□ コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	山顔後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3 さらに、配列 た配列が出願 あった。	表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
4. 補足意見:	
, , ,	
-residents' (Fin. Pri Stalinistic) p - republican un la	
	to the contract of the second

児解			
新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7	
進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	4, 7 1-3, 5, 6	•
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-7	<u> </u>

文献1: JP 2004-51937 A (学校法人日本大学) 2004.0 2.19, 【請求項1】 (ファミリーなし)

請求の範囲1-3, 5,6に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1により進歩性を有しない。文献1に記載されたナノダイヤモンドがポリマー中に分散してなる高分子複合材料におけるポリマーとして含フッ素エラストマー(パーフルオロエラストマー)を用い、得られた高分子複合材料を含フッ素エラストマー組成物の代表的な用途であるシール材とすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲4,7に係る発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

第VI概 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文母(PCT規則43の2.1及び70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)
JP 2004-256592 A [E, X]	16. 09. 2004	24. 02. 2003	
JP 2004-124086 A [E, X]	22. 04. 2004	20. 08. 2003	13. 09. 2002

2. 客面による開示以外の開示(PCT規則43の2.1及び70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付	 事面による開示以外の開示に曾及している
	(日.月.年)	書面の日付(日、月、年)

特許協力条約

発倌人 日本国特許庁(国際

出願人 (氏名又は名称)

REC'D 17 MAR 2005 出願人代理人 WIPO PCT 朝日奈 宗太 様 あて名 PCT 7 540-0012 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) 大阪府大阪市中央区谷町二丁目2番22号 [PCT規則43の2.1] NS LIV · 15. 3. 2005 発送日 (日.月.年) 出願人又は代理人 今後の手続きについては、下記2を参照すること。 の啓類記号 FP-8850PCT 国際出願番号 国際出願日 優先日 PCT/JP2005/001342 (日.月.年) 31.01.2005 (日.月.年) 26.02.2004 国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 C08L27/12, C08K3/04

ダイキン工業株式会社

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1.	この見解書は次の内	容を含む。
	区 第Ⅰ欄	見解の基礎
	■第Ⅱ欄	優先権
	□ 第Ⅲ欄	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
	□ 第IV概	発明の単一性の欠如
	X 第V欄	PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明
	X 第VI枫	ある種の引用文献
	□ 第VII概	国際出願の不備
•	第四個	国際出願に対する意見
2.	際予備審査機関がPない旨を国際事務局 この見解番が上記の ら3月又は優先日かな場合は補正審とと	がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 CT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 ように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 もに、答弁書を提出することができる。
	でりなる歴代収は、	WAFU1/13A/22Uを参照すること。
3.	さらなる詳細は、様	式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解告を作成した日 25.02.200	5	
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) ・ 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 松浦 新司	4 J 3 5 5 5
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3455

第1 欄 見解の基礎	
1. この見解書は、下	「記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
この見解書は、それは国際調	、 語による翻訳文を基礎として作成した。 査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	用示されかつ間求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 P群を作成した。
a. タイプ	配列表
	配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	一
	コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	山願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3.	表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述 告の提出 が
4. 補足意見:	
	· ·
a - HERDER'S PT- PT PARAMETER 2 g - Talum Talam and Ta	was a fact and an order of the second of the

国際調査機関の見解患

国際出題番号 PCT/JP2005/001342

. 見解			·
新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7	
進歩性 (I S)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	4, 7 1-3, 5, 6	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7	

文献1: JP 2004-51937 A (学校法人日本大学) 2004.0 2.19, 【請求項1】 (ファミリーなし)

請求の範囲1-3, 5,6に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1により進歩性を有しない。文献1に記載されたナノダイヤモンドがポリマー中に分散してなる高分子複合材料におけるポリマーとして含フッ素エラストマー(パーフルオロエラストマー)を用い、得られた高分子複合材料を含フッ素エラストマー組成物の代表的な用途であるシール材とすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲4,7に係る発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文件(PCT規則43の2.1及び70.10)

出願番号 ———特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)
JP 2004-256592 A [E, X]	16. 09. 2004	24. 02. 2003	
JP 2004-124086 A [E, X]	22. 04. 2004	20. 08. 2003	13. 09. 2002

2. 書面による開示以外の開示(PCT規則43の2.1及び70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付	書面による開示以外の開示に首及している。
	(日.月.年)	書面の日付 (日. 月. 年)